



別府ゆうきくん

枕崎市立別府中学校
平成30年12月17日

～ 生徒の頑張りに元気をもらいました ～

校長 立山 佳人

「生徒の頑張りに元気をもらいました」という書き始めで、別府中学校OBの山崎 耕さん（東京在住：昭和42年卒業生）からお便りを頂きました。

山崎さんは、昨年11月の枕崎市総合文化祭の折に母校を訪問してくださいました。書道歴40年で「東京つつじ書会」の副会長であります。山崎さんについては昨年のお訪問以来、生徒玄関に詳しく掲示してありますので、ご覧になった方もいらっしゃるかと思います。

さて、今回のお便りには、「本日の手紙の趣旨は、枕崎市広報2018/12月号の表紙に3年生庵山心愛さんの題字が載っていたことに、感慨深い物を感じ、遠い東京からも心を馳せとても懐かしくなりお手紙を差し上げたということでありました。」と続いています。以下、手紙の一部を原文のまま紹介します。

1 古里は遠くにありて思うもの

(1) 庵山心愛さんもいつかは故郷を旅立つ日が来るでしょう。ア 昭和42年に中学校を卒業した私達は同級生の親睦会として「卯辰会」を作り卒業以来55年を過ぎた今でもとても仲が良く、お互いの親睦を図っております。ちなみに、昨年の11月には有志により奈良旅行を、今年の11月には東京で開催された関東枕崎会の総会に別府出身者が多数参加してくれました。来年の7月には和歌山旅行も計画しております。

イ この様に、庵山心愛さんも今の同級生やお友達、古里をいつまでも大切に思える人に成長して頂きたいものです。お世話になった先生方やご両親、ご兄弟への感謝の気持ち、友達への思いやりの心は社会人になってもとても大切なことでもあります。

ウ 「古里は遠くにありて思うもの」と言いますが、いつかはこの意味が分かる日がくるでありましょう。

(2) 古里は宝物です。

ア 桜島や開聞岳、枕崎の立神岩等を見ると今でも学生時代のアレコレを思い出します。

イ 昭和46年に上京した私は、苦しい時や悩んだりした時、いつも桜島や開聞岳、枕崎の人々のお人柄を思って、頑張りぬいてしぶとく生き抜いてきました。

ウ 古里があるから頑張ってきた。今、故郷で暮らしているとその良さが今ひとつ分からないのかもしれない

が、生まれ故郷を遠く離れて暮らすと駆け回っていた古里の野山の風景、川や海で遊んだ日々が思い浮かび、その有難さが胸にジンときます。

私は良いところで生まれ育ったなあ・・・といつも思っております。

やはり、古里は大事な大事な宝物です。

2 題字から受ける印象

書道の道に身を置く私は、常々「字は身を、体を表す」と思っております。字は書き手の心を表します。作者の性格、その時の体調、心の持ちよう、字に託す思い等が字を通して語ってくれるのです。庵山心愛さんのことは存じませんが、多分女性で、性格的にはとても優しい気持ちの持ち主でしょうね。人とも良く交わりお友達からの信頼も厚いものがあるように感じます。

- (1) 基本が出来ており、書の勉強をしっかりなさっています。
- (2) 全体的にやや右肩がりの作風で、線の大きさをきかし、線質も良くリズム感に溢れています。



別府や枕崎市がどこにでも誇れる素晴らしい古里なんだということ庵山心愛さんに語りかけながら、別府中学生全員に語られているのだと思います。

いつまでも古里や後輩のことを思い続けて頂きありがたい事だと感じました。また、この様な人と人のつながりを再確認できる取組をして頂いている市報の企画にも感謝しています。

親戚が集まる機会でもある年末・年始に、それぞれのご家庭で古里別府のことを語合える団らんになると良いですね。

別府中学校PTA活動、いつもありがとうございます

最近の3つの活動を紹介します！



たくさんの受賞おめでとう！

- ◆ 第30回選抜中学校野球枕崎大会 (2位) 野球部 (優秀賞) 土本亮汰さん
- ◆ 県青少年育成県民会議「家庭の日」標語 (最優秀賞) 林 絆直さん (努力賞) 鮫島 椿さん
- ◆ 平成30年度読書感想文コンクール (特選) 中村光里さん・神谷琳瑚さん 池之平采華さん (入選) 西村朱香さん (佳作) 茅野琥太郎さん

自分で自分を驚かせよ！

12月8日(土)に校内駅伝大会が実施されました。別府中伝統の地域対抗8チーム6区間に分かれ、たすきをつなぎました。全員全力の感動的シーンが数多く見られ、2学期の締めくくりに相応しい一日となりました。保護者の皆さま、声援や交通整理の協力ありがとうございました。



【総合】

- 1位：板敷Aチーム → 2連覇おめでとう！
- 2位：下山チーム
- 3位：中原チーム

【区間賞】

- 1区：白井 七海さん (2年・板敷B)
- 2区：板敷 千豊さん (3年・板敷A)
- 3区：今別府七海さん (2年・東西白沢)
- 4区：栗野 翔大さん (2年・中原)
- 5区：中村 光里さん (3年・東西白沢)
- 6区：白澤 英資さん (2年・東西白沢)

12月下旬～1月の行事予定

- 12/19(水) 授業参観・学校保健委員会・1・2年学級PTA
- 12/21(金) 2学期終業式・大掃除 成人式ボランティア打ち合わせ会
- 12/24(月・祝) 枕崎ライオンズクラブ結成55周年記念講演
- 12/28(金) 仕事納め・合同補導
- 1/3(木) 枕崎市成人式
- 1/4(金) 仕事始め・合同補導
- 1/8(火) 3学期始業式・大掃除
- 1/9(水)～10(木) 第4回実力テスト(3年)
- 1/16(水)～17(木) 鹿児島学習定着度調査(1・2年)

別府地区伝統料理「そまんずし」の持つ意義！

◆ 12月15日(土)に別府公民館で青少年講座「高齢者と子どもたちとのふれあい交流そまんずし作り」が今年も開催されました。

◆ 「そばのぞうすい」→訛って「そばんずすい」→さらに訛って「そまんずし」という説が有力のようです。そばずい・そばじゅいとも言われる南薩地域の郷土料理です。昔の別府地区は水が少なく、お蕎麦が主食だったそうです。そこでこの「そまんずし」が喜ばれて食べられたのですね。

◆ 鹿児島県の玄蕎麦生産量は、実はなんと全国第2位！

みんな原料で売ってしまうから意外に知名度が上がらないそうですが、鹿児島独特の蕎麦文化と伝統が根付いています。高齢者に教えてもらうことは大変貴重で、今後も別府校区の文化として大切にしていきたいものです。

